

## 人工芝からPFAS検出 公園の人工芝生化はストップを



田中ゆみ

市は公園への人工芝敷設について、2025年夏に市内465公園を対象に行なった希望調査で105公園から希望があったとして、26年度にモデル試行を検討しています。

一方、東京・多摩市や大阪府の実態調査では、テニスコート1面の人工芝から約10~15kgのマイクロプラスチックが発生し、このうち側溝で捕捉できたのはわずか5%と、流出対策には限界があることがわかっています。

人工芝の設置禁止は、国内外で進んでいます。既に、欧米では次々

と法制化されています。国内でも、「減プラスチック社会を実現するNGOネットワーク」が、国内販売の33種類の新品全てから何らかのPFASが検出されたとして、環境省に申し入れました。

党市議団が敷設の再考を求めたのに対し、市長は再度検討したいとの考えを示しました。

そもそも、市は環境問題化しているプラスチック製品の使用や発生の抑制を呼びかける立場です。自ら市内中の公園に広げようすることは、市民に説明が付きました。

PFAS…1万種類以上ある「有機フッ素化合物」の総称。自然分解にくく、一部は、発がん性や様々な健康影響が指摘されています。



多摩市「テニスコート砂入り人工芝におけるマイクロプラスチック流出抑制対策ガイドライン」(2024年3月)から

## 学校給食調理場再整備計画 市民的な議論が必要



やどめ和子

小 中学校の給食調理場の老朽化が進む中、市は全調理場の具体的な再整備計画づくりを2024年春から進めています。25年度中の策定をめざし、9月末には中間報告を出す予定でしたが、年末になっても出ず、議論されていません。

給食調理では、規模が大きくなるほど異物混入など万が一の時の影響も深刻になります。また、中区海吉に建設中の新給食センターは、費用が当初想定から大幅に増えて、自校調理場を改修した場合を上回り、集約化の口実も破綻しています。

市は、計画の年度内策定を延期する予定はないとしており、市民に意見を求めるパブリックコメントができる可能性もあります。

計画のもととなる再整備指針では、中学校の自校調理場は原則廃止、小学校は原則存続で、小規模校については集約化も検討していくとしていま

### 「内部で方針決まっていた」が議員の質問に説明なし!

11月議会で、建部給食センターを廃止し、4校を御津のセンターに集約することになりました。廃止をいつ決定したのかという質問に市は2023年9月には内部で方針が決まっていたと答弁しました。しかし、24年の委員会では「いったん取り壊す」と答弁し、建部を廃止するという説明は全くありませんでした。

### 11月議会で賛否の分かれた議案・陳情

25年11月議会では67議案が可決、そのうち党市議団は新アーニーの補正予算など11件に反対しました▼全市民向け給付金や水道料金や学校給食費を据え置くなどの物価高騰対策予算が可決されました▼国に「ジェノサイド条約」の批准を求める陳情が自民以外の賛成多数で採択されました。意見書は委員会で3/4以上の賛成が無いと出さないルールのため、趣旨採択です▼学校給食の無償化にあたって公平な実施を求める議員提案の決議を全会一致で採択し、国に意見書を提出しました▼2024年度決算20件のうち、党市議団は4件に反対しました。

○=賛成・可決、×=反対・否決

	結果	共産	自民	公明	創政	みらい	懐か	おか	維新	
議案	アリーナの事業開始決定となる補正予算(甲177号)	○	×	○	○	○	×	○	×	×
陳情	地域限定保育士の導入を認める条例改正(計6件)	○	×	○	○	○	※1	○	○	○
	建部給食センターを廃止し御津センターに統合、大規模化	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	市立園の統廃合を進める工事契約(計3件)	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	アリーナ建設計画の是非を問う住民投票の実施を求める	×	○	×	×	×	○	×	○	○
	国に農家への所得補償(直接支払い)制度の実現を求める	×	○	×	×	×	○	×	×	×
	幼稚園・こども園の学級定数の少人数化を求める	×	○	×	×	×	※2	×	○	○
	国に「ジェノサイド条約」の批准を求める	○	○	×	○	○	○	○	○	○

会派名…みらいえ(鬼木・土田・高成議員)、懐か=懐かしい未来(森山・川上議員)、おか=おかやま未来プロジェクト(中島議員)、維新=日本維新的会岡山市議団(前島議員)  
※1賛成=土田・高成議員/反対=鬼木議員  
※2賛成=鬼木・高成議員/反対=土田議員

## 上下水道民営化の「ウォーターPPP」

国は「ウォーター PPP」と呼ぶ上下水道の民営化を、全国の自治体に押し付けています。民営化の段階を、営利企業に運営権をさせるレベル4「コンセッション方式」、その前段階をレベル3.5「管理・更新一体マネジメント方式」として、導入しなければ汚水管改築の国補助を出さないとしています。

岡山市は、上水道には導入しない考えです。一方、下水道については2029年度から御津・建部の公共下水道3処理区と農業集落排水5

地区にレベル3.5の導入を検討しています。

国は、民間の創意工夫を活用する行政の効率化だと思いますが、先行導入した自治体では、水質事故や、自治体の負担増につながっています。基礎インフラを営利企業に任せば、維持管理より儲けが優先されることは明らかです。民営化すべきではありません。

大規模な下水道陥没事故が起きた埼玉県の知事は、国のやり方に否定的です。岡山市も、国言いなりになるのではなく、住民の安全を守る立場で国に物申すべきです。

「ウォーター PPP」の問題点など詳しい解説はこちら



QRコード  
東つよし

## 有料職業紹介の高額な手数料に悲鳴 人材確保策の充実を

医療・介護などの分野で人材不足が深刻化する中、少なくない事業所が有料職業紹介を使わざるを得ず、高額な紹介手数料負担で経営が圧迫されています。

党市議団の独自調査で、一人100万円前後になる場合もある、25年4~10月で1,000万円以上の紹介手数料を払ったなど、市内事業所の深刻な実態が明らかになりました。党市議団は、医療や介護は価格に転嫁できない公的制度である

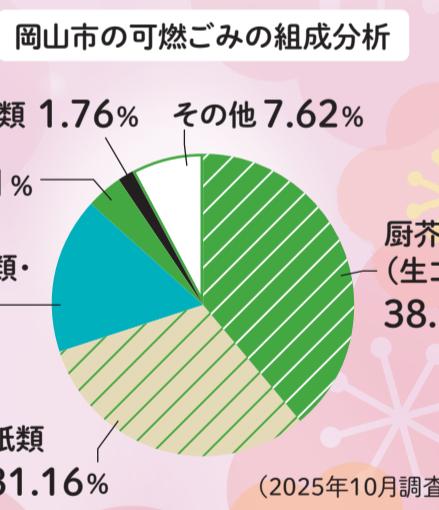
ことから、紹介手数料の上限規制を国に働きかけるよう求めています。

また、人材不足の解消には根本的に報酬の抜本引上げが必要で、独自の支援策を行っている自治体もあります。岡山市は25年度に新たな施策を行っておらず、党市議団は、他市のように奨学金の返済補助や復職者への奨励金などで、人材確保支援策を充実させることも求めています。

## なかなか減らないゴミ問題

市は、玉野市と久米南町と合同の広域施設として、約300億円かけて岡南焼却場の建替を進めています。今回新たに、当新田焼却場を大規模改修と15年間の運営を含め283億円で委託することを決めました。約30年前の安宅市長時代には、焼却ゴミを減らして岡南を休止し、東部クリーンセンターと当新田の2箇所体制にする方針が出されたこともあります。

可燃ごみの4割は生ごみです。8割が水分という生ごみの焼却は大変効率です。環境問題にも逆行します。さらなる分別と資源化を進める市の抜本的なゴミ減量の方針が必要です。



### 議会日程

#### 2026年2月定期会

- 2/ 5(木) …… 請願・陳情締切
- 10(火) …… 議会運営委
- 16(月) …… 開会
- 20(金)・24(火) …… 代表質問(2/24 田中のぞみ)
- 25(水)・26(木) …… 一般質問
- 3/ 2(月)～4(水) …… 予算特別委員会
- 5(木)・6(金) …… 予算特別委員会
- 9(月) …… 常任委
- 12(木) …… 予算特別委員会(意見表明・表決)
- 16(月) …… 議会運営委
- 17(火) …… 閉会

### 編集後記

昨年のニューヨーク市長選で、トランプ大統領に「共産主義者」と呼ばれた民主社会主義者のマムダニ氏が当選しました▼自衛隊の機関紙とも言える『朝雲』で、マルクスの資本論を解説した書籍『Q&A いま資本論がおもしろい!』が紹介されました▼資本主義に対する疑念の広がりを実感します。労働者が働いて生み出した富を資本家が取ってしまう搾取の仕組みを明らかにし、資本主義の次の社会への展望を示したのが「資本論」です▼資本主義では時間も搾取されています。搾取を解消した自由な社会が資本論の示す社会主义・共産主義です。旧ソ連や中国とは別物です。



26年新春宣伝



みんなが暮らしのためのアリーナ